

雪氷写真館④⑥ グリーンランド縦断中の風景／Scenery of Greenland Expedition



写真 A. 氷床上をパラセールで滑走する



写真 B. 北緯 81 度付近に雪はなく、裸氷地帯を進む (中央黒い点は著者)



写真 C. 氷床上でのテント風景



写真 D. パラセールで滑走中、突然現れた人工物に驚く。

グリーンランド内陸氷床の景色

2004年4月5日にグリーンランド南端を出発し、北端まで約2500kmを57日間かけ冒険家大場満郎氏と二人で縦断してきた。今回の旅は単なる冒険行ではなく、降雪、大気サンプリング、紫外線調査等を行いながらの環境調査の旅でもあった。今回の旅の詳細に関しては、本号の滞在記「グリーンランド縦断行」を参照して頂きたい。

写真Aは、内陸氷床上をパラセールで快走しているシーンである。天気が良く、いい風が吹いている時のパラセールは最高に気持ちいいものである。写真のセールは比較的小さめ8m²のセールである。

写真Bは、北緯80度50分以上に出現した裸氷地帯の写真である。写真中央の黒い点は数百メートル先から歩いてくる著者である。この写真には写っていないが、付近には多くのクレバスがあり、とても危険であった。

写真Cは、氷床上でのありふれたテント風景である。雪面上にうっすらと白い線が見えるのは、強風で舞い上げられた雪面の雪がサラサラと川のように流れて行く様子である。

写真Dは、氷床上で見た唯一の人工物である。パラセールで順調に滑走している時、大場さんが急に「ストップ、ストップ」と大声を張り上げた。不思議に思い、指さす方を眺める。遠くに何か木の様なものが立っているのが見えた。「まさかこんな所に」と思いながら近づいてみると、無人の観測塔であった。観測塔の詳細に関しては本号滞在記の「グリーンランド縦断行」の写真6を参照されたい。こんな所で、人知れず毎日観測に励んでいるのかと思うと、自分も負けてはいられないと思わされる瞬間であった。

長谷徹志 会員 (名古屋大学環境学研究科)